

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-45182

(43)公開日 平成10年(1998)2月17日

(51)Int.Cl. ⁶	識別記号	序内整理番号	F I	技術表示箇所
B 6 5 D 83/00			B 6 5 D 83/00	J
A 4 5 D 19/02			A 4 5 D 19/02	B
24/22			24/22	D
34/04	5 5 5		34/04	5 5 5
B 6 5 D 47/42			B 6 5 D 47/42	A
			審査請求 未請求 請求項の数 7 OL (全 5 頁) 最終頁に続く	

(21)出願番号 特願平9-84093

(22)出願日 平成9年(1997)4月2日

(31)優先権主張番号 9604188

(32)優先日 1996年4月3日

(33)優先権主張国 フランス (FR)

(71)出願人 391023932

ロレアル

LOREAL

フランス国パリ、リュ・ロワイヤル 14

(72)発明者 スタニスラ・ドゥ・ネルヴォ
フランス75017パリ、リュ・レオン・ジョ
スト23番

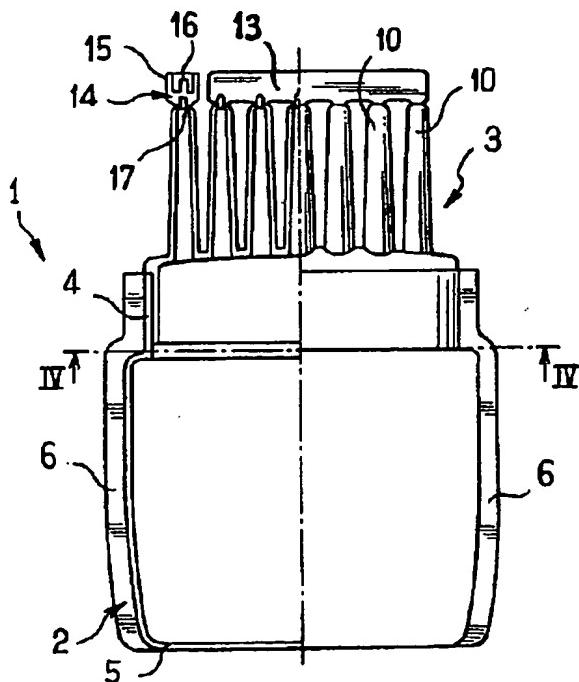
(74)代理人 弁理士 青山 葦 (外1名)

(54)【発明の名称】 ヘアケア製品の包装および塗布用装置

(57)【要約】

【課題】 先行試験の実施および該試験後の再度の密閉が容易であり、塗布時間を短縮でき、均一な着色が容易なヘアケア製品の包装および塗布用装置を提供すること。

【解決手段】 液体または半流動体製品、特にヘアケア用製品を収容するのに適したレセプタクル2、および上記製品を小出しするのに適した中空歯を有する櫛形態のアプリケーター3からなる、新規な上記製品の包装および塗布用装置1において、上記アプリケーター3は上記レセプタクル2に最初から固定されており、その歯の1つは独立したスナップーオフ部14によって密閉され、一方で他の歯は共通のスナップーオフ部13によって密閉されており、上記の独立したスナップーオフ部14は逆さまにしたとき、対応する歯に適したクロジャーキャップを形成するよう形作られていることを特徴とする装置。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ヘアケア用の液体または半流動体製品を収容するのに適したレセプタクル、および上記製品を小出しするのに適した中空歯を有する樹形態のアプリケーターからなるヘアケア用の液体または半流動体製品の包装および塗布用装置において、上記アプリケーター(3)は上記レセプタクル(2)に最初から固定されており、その歯の1つは独立したスナップーオフ部(14)によって密閉され、一方でその他の歯は共通のスナップーオフ部(13)によって密閉されており、上記の独立したスナップーオフ部(14)は逆さまにしたとき、対応する歯に適したクロージャーキャップを形成するよう形作られていることを特徴とする装置。

【請求項2】 レセプタクルが、周囲を合わせてヒートシールされる2つのシェル(5)から構成されていることを特徴とする、請求項1記載の装置。

【請求項3】 レセプタクル(2)がアプリケーターを固定する長円形断面のネック(4)を有することを特徴とする、請求項1または2記載の装置。

【請求項4】 アプリケーター(3)がレセプタクル(2)のネック(4)にヒートシールされていることを特徴とする、請求項1～3いずれかに記載の装置。

【請求項5】 アプリケーターがレセプタクルのネックの上に過剰成形していることを特徴とする、請求項1～3いずれかに記載の装置。

【請求項6】 レセプタクルがその底から充填されることを特徴とする、請求項5記載の装置。

【請求項7】 レセプタクルがチューブであることを特徴とする、請求項6記載の装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、液体または半流動体のヘアケア製品、特に髪の着色剤または染料の包装および塗布用装置に関し、さらに詳しくは、上記製品を収容するのに適したレセプタクル、および頭髪内で上記製品を小出しするのに適した中空歯を有する樹形態のアプリケーターからなる装置に関する。このタイプの装置は頭髪への塗布に要する時間を短縮することができ、製品が染料である場合に均一な着色を容易にする。

【0002】

【従来の技術】米国特許U.S. 4 77 447号では、染料を収容するレセプタクルのネックにねじ留めるのに適した、中空歯を有する樹形態のアプリケーターが開示されている。

【0003】しかしながら、この米国特許で開示されたアプリケーターは比較的高価な構造を有しているため、先行試験を行いたい場合に使用しにくい。

【0004】また、先行試験時から、後日行われる髪全体への塗布時までの間、染料を適切に貯蔵するために、染料を収容するレセプタクルを再度密閉する必要があ

り、このためにはアプリケーターを外して、別のクロージャーキャップを元のようにレセプタクルにねじ留める必要があり、さらにはそのキャップはなくなるかもしれない。

【0005】さらに、上記装置では、先行試験に必要とされるほんの少量の上記製品をレセプタクルから取り出すのは困難である。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、先行試験の実施および該試験後の再度の密閉が容易であり、塗布時間と短縮でき、均一な着色が容易なヘアケア製品の包装および塗布用装置を提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】本発明は、液体または半流動体製品、特にヘアケア用製品を収容するのに適したレセプタクル、および上記製品を小出しするのに適した中空歯を有する樹形態のアプリケーターからなる、新規な上記製品の包装および塗布用装置において、上記アプリケーターは上記レセプタクルに最初から固定されており、その歯の1つは独立したスナップーオフ部によって密閉され、一方でその他の歯は共通のスナップーオフ部によって密閉されており、上記の独立したスナップーオフ部は逆さまにしたとき、対応する歯に適したクロージャーキャップを形成するよう形作られていることを特徴とする装置に関する。

【0008】従って、上記の独立した歯は、先行試験を行うために少量の製品を小出しするのに用いることができる。

【0009】本発明は、従来技術による装置より操作が容易で、製造コストが低い装置を提供するものであり、このためたった1回の使用だけのための装置の使用を考えられるようにする。

【0010】本発明の他の特性および利点は、以下の詳細な説明中の具体例を読むこと、および添付の図面を試行することによって明らかになるが、本発明はこれらに制限されるものではない。

【0011】

【0011】図1は本発明の具体例を構成する装置(1)の、部分的に破断図を有する前面立面図を表す。この装置は液体製品、例えば、髪染料を収容するのに適したレセプタクル(2)、および上記製品を頭髪に小出しするのに適したアプリケーター(3)からなる。

【0012】具体例において、レセプタクル(2)は熱成形された2つのシェル(5)を合わせて結合することによって構成され、その上端では、長円形断面を有する開口部を明示するネック(4)を有する。

【0013】いずれのシェル(5)も、そのサイドエッジにリム(6)を有しており、リム(6)は他方のシェルの対応するリムと直面してヒートシールされる。

【0014】シェル(5)は相対的に柔軟性のあるプラスチック材料からなることが好ましく、これによつて、

レセプタクルに収容されている製品を指圧によってそこから排出させることができる。

【0015】2つのシェル(5)の底部エッジは、平らな底を構成するよう、エッジに対してエッジを直接的に合わせてヒートシールされ、このためレセプタクルを直立させて放置することができる。

【0016】アプリケーター(3)は柔軟性プラスチック材料を射出成形することによって製造されることが好ましく、より詳しくは図2に示すように基材(7)を含んでおり、この基材は、その上端でドーム形態の壁(9)によって密閉される長円形断面を有するチューブ状スカート(8)によって構成され、上記壁は軸に平行に一定間隔で並んだ複数の中空歯(10)と連結している。

【0017】チューブ状スカート(8)はネック(4)に密接に適合するよう形作られている。

【0018】基材(7)は、チューブ状スカート(8)の向かい合った側面を相互に連結するようその幅を横切って延伸している複数の横断間仕切(11)によって堅くなっている、いずれの間仕切も対の隣接する歯(10)の底部オリフィスの間で上壁(9)に連結し、チューブ状スカート(8)の十分な高さまで実質的に連なって延伸している。

【0019】上壁(9)の周囲はチューブ状スカート(8)を越えて少し突き出ており、図1に示すように基材(7)をネック(4)に完全に挿入するとネック(4)の上端エッジに接触する。

【0020】上記歯(10)は円錐形状を有しており、上にいくにつれ先細りしている。歯の列における2つの両端の歯のうちの1つ、特に図中の左の歯は独立したスナップーオフ部(14)によって密閉されており、このスナップーオフ部(14)はアプリケーター(3)の残部と複合的に成形されている。その他の歯(10)は共通のスナップーオフ部(13)によって、それぞれの上端で密閉されており、このスナップーオフ部(13)も同様にアプリケーター(3)の残部と複合的に成形されている。

【0021】より詳しくは、スナップーオフ部(13)は鉛直プレートによって構成され、その底部エッジは薄壁により歯(10)の上端と相互に連結しており、上記薄壁はスナップーオフ部(13)に、その面に対して垂直方向に力をかけると折れるようになっている。

【0022】スナップーオフ部(13)の厚みにおいても、それぞれの歯(10)の軸方向の孔によって内部が連続して中空になっており、このため上記壁を折った後、歯(10)の上端が十分に開口し、レセプタクル(2)に収容されている製品がうまい具合に流出可能となる。

【0023】スナップーオフ部(14)の上端は、中央スタッズ(central stud)(16)を囲んでいるチュ

ブ状壁(15)によって構成され、その底部は環状薄壁によって歯(10)の円錐壁に連結されており、このため折れると製品は歯(10)を通って流出可能になる。

【0024】スナップーオフ部(14)の底部は、内部が歯(10)の中央孔と連続して中空であり、このためそれの流出口オリフィスは十分に開口している。

【0025】スナップーオフ部(14)は分離した後、逆さまにすると、歯(10)の上端に噛み合わせることができ、そのときスタッズ(16)は歯(10)の上部オリフィス(17)に嵌合しながら、一方でチューブ状壁(15)は歯(10)との摩擦により保持されている。

【0026】レセプタクル(2)が充填された後は、上壁(9)がネック(4)の上端エッジ(18)に接触して、ネック(4)がチューブ状スカート(8)の周囲と密接に適合するまで、より詳しくは図4の断面図に示すように、アプリケーター(3)をネック(4)に挿入する。

【0027】その後、レセプタクルのネック(4)は、20 例えば、略図的に図5に示すように、レセプタクルのネック(4)の外側表面に対して加圧する2つの加熱ジョー(A)によって、チューブ状スカート(8)にヒートシールされる。ネック(4)はアプリケーター(3)をヒートシールすることによる漏れ止めの方法で密閉される。

【0028】様々な具体例(示さない)においては、アプリケーターはレセプタクルのネックの上に過剰成形(overmolded)される。

【0029】この場合において、レセプタクルはその底部から充填可能であることが好ましく、例えば、チューブによって構成されることが好ましい。

【0030】アプリケーターは以下のようにして用いられる。先行試験をするために、図6に示すようにスナップーオフ部(14)単独を折り取り、これによってオリフィス(17)が開口する。これは、少量の製品をゆっくり小出しするのに適したエンドピース(endpiece)を提供し、それによって例えば、完全な処理の前日における先行試験の実施が可能となる。

【0031】先行試験を行うのに適した量の製品を小出した後は、スナップーオフ部(14)は図7に示すように逆さまにすると、対応する歯(10)のクロージャーキャップとして機能する。

【0032】先行試験が満足のいくものである場合、その後スナップーオフ部(13)を折り取り、スナップーオフ部(14)を再度取り去ると、図8に示すように全ての歯(10)が製品の小出しに利用可能になる。

【0033】本発明はもちろん上述の実施例に制限されるものではなく、本発明の範囲を越えない範囲内であればレセプタクル(2)をインフレート法(blow extrusion)によって製造することができる。

【0034】

【発明の効果】本発明の装置は比較的安価な構造を有し、レセプタクル中に収容されている製品を少量で取り出すことができるため、先行試験の実施が容易である。また、本発明の装置は先行試験後の再度の密閉が容易であり、塗布時間の短縮が可能で、均一な着色を容易に提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の具体例を構成する装置の、部分的に破断図を有する前面立面図を表す。

【図2】 アプリケーターがレセプタクルにどのように連結されるかを示す図を表す。

【図3】 図2中の直線III-IIIの断面図を表す。

【図4】 図1中の直線IV-IVの断面図を表す。

【図5】 アプリケーターのレセプタクルへのヒートシ

ールに用いられる工作機械の概略図を表す。

【図6】 本発明の装置を使用する際の特定の段階を示す図を表す。

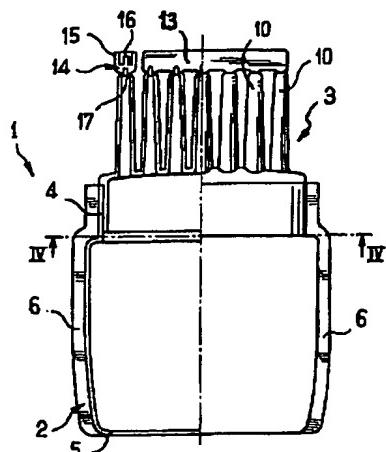
【図7】 本発明の装置を使用する際の特定の段階を示す図を表す。

【図8】 本発明の装置を使用する際の特定の段階を示す図を表す。

【符号の説明】

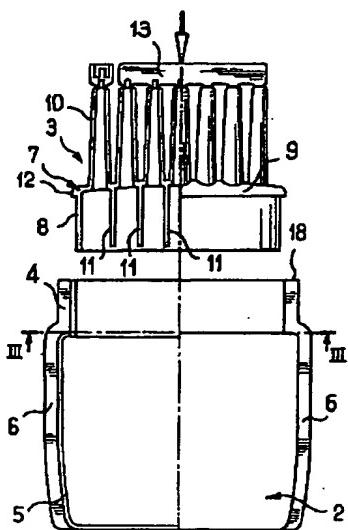
1：装置、2：レセプタクル、3：アプリケーター、4：ネック、5：シェル、6：リム、7：基材、8：チューブ状スカート、9：壁、10：中空歯、11：間仕切、12：壁の周囲、13：スナップーオフ部、14：スナップーオフ部、15：チューブ状壁、16：中央スタッド、17：上部オリフィス、18：上端エッジ

【図1】

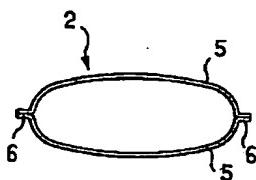


【図4】

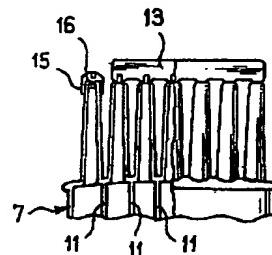
【図2】



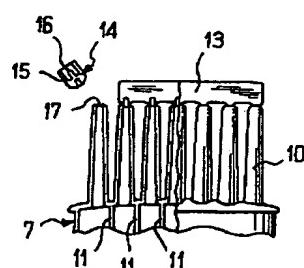
【図3】



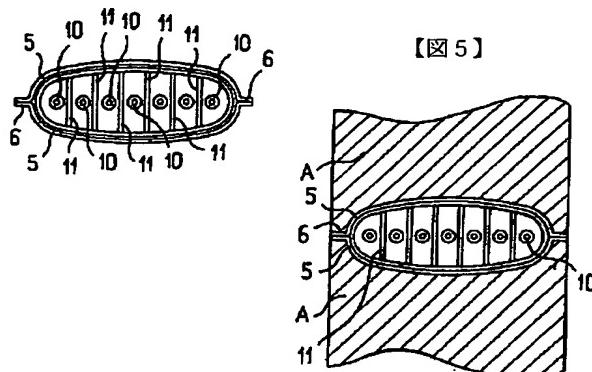
【図7】



【図8】



【図5】



フロントページの続き

(51) Int.C1.⁶
// B O S C 5/00

識別記号 庁内整理番号
1 0 1

F I
B O S C 5/00

技術表示箇所
1 0 1